

6月議会
最終日

「ラグビーW杯、航空機製造に県費投入は問題」

奨学金返済請求は丁寧で慎重な対応を

愛知県議会は7日、提出議案の採択を行いました。

共産党のわしの議員は、本会議の壇上に立ち、いくつかの議案に反対の討論をしました。

一般会計補正案については、「ラグビーWカップそのものはスポーツ振興で賛成だが、なぜ開催自治体が負担金を拠出するのか。2億円の根拠もあいまいで、県民にも説明されていない」「『航空機製造分野の人材の育成』として約250人の研修を行い、1人当たり25万円を限度に研修費補助を公費負担する。その根拠を『航空機産業は、県の重点政策であり、盛り上げる必要がある』と説明していますが、三菱重工など名だたる成長企業に、なぜ公費を支出するのか。また、この地域では次期戦闘機F35の生産も予定されており、結果として軍需産業へ公費を投入することになる」と指摘しました。



壇上で反対意見を述べるわしの議員

県は、6年以上滞納し、返済意思が確認できない高校奨学金貸与者に訴訟を起こすための同意を議会に求めました。わしの議員は、「県当局の粘り強い努力は理解できるが、調査回答から貧困の増大、非正規雇用の増大など今日の青年の経済状況は深刻であり、県は丁寧で慎重な対応が求められている。訴訟は、返済に苦しんでいる人にますます不安を与える。「教育の機会均等」（憲法26条）を具現する奨学給付金制度こそ求められている」と強調し、「訴えの提起」の同意に反対しました。そのほか、意見書、請願書の取り扱いについても採決が行われました（前号で詳細）。

6月定例会の議案と各会派の態度・結果

議案名	各会派の態度					結果	内容
	共	自	民	公	維		
一般会計 補正予算	●	○	○	○	○	可決	ハートオブジャパン誘客促進事業費 ラグビーWC負担金 地域創生人材育成事業費（介護・航空機製造人材育成） 交通安全施設整備費
企業会計 補正予算	○	○	○	○	○	可決	城山病院施設整備費 小児保健医療センター施設整備費
県税条例の一部改正	●	○	○	○	○	可決	地方税法の改正に伴い、法人事業税の外形課税強化の強化。法人実効税率の引下げが目的。黒字企業に減税、赤字企業に増税
個人情報保護条例の一部改正	●	○	○	○	○	可決	「マイナンバー法」施行に伴い、個人情報保護条例の利用制限個人情報保護条例の規定を整備
女性総合センター条例の一部改正	○	○	○	○	○	可決	使用料の優遇措置に、「女性の活躍企業等」の追加
都市公園条例の一部改正	○	○	○	○	○	可決	① 禁止行為の追加（ドローン飛行の禁止） ② 愛・地球記念公園の駐車料金「全国緑化フェア期間」だけ土・日800円
体育館・社会教育施設条例の一部改正	●	○	○	○	○	可決	青年の家など3施設（岡崎美合、美兵、旭高原）の野外炊飯場使用料200円（日帰り者）を徴収する
訴えの提起（訴審）	●	○	○	○	○	承認	奨学金貸付金返還請求裁判の承認。滞納期間が6年以上の者のうち、再三督促しても、奨学生も連帯保証人も返済意思や返済できない理由を示さない61名に対し債権の回収と消滅時効（10年）の中断を図るため訴審
東三河広域連合の事務の受託	○	○	○	○	○	承認	非常勤職員の公務災害認定および不服申立て審査受託
公安委員会委員の選任	○	○	○	○	○	承認	立花 貞司（新任）
人事委員会委員の選任	○	○	○	○	○	承認	斎藤 勉（再任）
名誉県民の選定	○	○	○	○	○	承認	ノーベル賞受賞者 赤崎 勇・天野 浩
副知事の選任	○	○	○	○	○	承認	堀井 奈津子（現在、厚労省 外国人雇用対策課長）

○=賛成 ●=反対 ×=棄権

共：日本共産党 自：自民党 民：民主党 公：公明党 維：維新